



農業委員会だより

2011

第16号

平成23年8月1日
飯網町農業委員会
電話(026)253-4765

飯網町マルシェ

町では、パソコンを所有し、インターネットの接続環境が整っている農家及び商工業者を対象にインターネット上で店舗を開設する飯網町の電子商店街『飯網町マルシェ』を開設いたします。

特徴としては、

各出店者の販売ページの初期作成及び更新が簡単にできるシステムとなっており、当初は委託業者及び町が販売ページの初期作成の支援を行います。このことによりパソコンに不慣れな方でも、簡単にインターネット販売ができます。

また、出店者毎の制作費等の初期費用を町が負担するため出店に係る費用は、月額基本料が2500円、販売手数料が売上の5%となっていて個人で出店するより安い設定



「飯網町マルシェ」トップページ

となつていきます。さらに、出店費用に加え「ながのモール」というインターネット販売システムに入るため、配送料金も通常より安価になります。来月(9月)からの開設となりますが、それ以降も出店可能です。

ご自身で作ったものを全国の消費者に直接販売できるチャンスですので、この機会にぜひ出店してみたいか、出店に関するお問い合わせは、産業観光課農林係までお願いします。

iファン(飯網町ファン)

飯網町には、緩やかな傾斜地に広がる農地、里山、美しい四季など「心の田舎」を求めている都市住民に伝える景観があります。また、食を含めた農村文化を伝承する多くの人材がいます。

これらの魅力を活かしながら、今年度、新規事業としてiファン(飯網町ファン倶楽部事業)に取り組みます。この事業は、町民がインストラクターとなり、恵まれた町の資源を活かして、農業や自然をテーマにした約50の体験プログラムを用意して、その魅力を味わっていただくものです。

農業や自然、いろいろな体験の中から飯網町の魅力を発見してもらい、自分



とうもろこしの収穫体験

のライフスタイルに合った過ごし方で飯網町が第二のふるさとになるかもしれません。また、飯網町の魅力を満載した飯網町公式ガイドブック「iFAN」が発刊されました。詳しくは産業観光課商工観光係までお問い合わせください。

遊休荒廃地復旧対策にヒマワリ、遊休化防止対策事業にじゃがいもと野沢菜を

仲俣 孝志

町農業委員会の遊休農地解消の取り組みとして、牟礼表町地籍（四ツ屋バイパス沿い）に栽培に手間がかからず景観にもよく、うまくいくと油まで取れるヒマワリをまく事になりました。しかし、その場所はヨシや木などが茂っている荒れ放題の農地。歩く事さえ困難な場所が、どう

やったら農地になるのか不安でした。ビーバーやチェーンソーを使い皆汗だくです。2時間程作業をすると見違えるくらいきれいになりホッとしました。私達農業委員の仕事はここまでであとは甲信タボタさんの協力を得て何とか立派な農地に再生していただきました。

6月6日は、牟礼東小学校の6年生18人との共同作業でした。普段小学生との交流もなく最初は話すら出来ませんでした。種をまき、土をかぶせ水をやる

ころにはだいぶ仲良くなれました。

この農ネットいづなが発行されるころには、きれいな場所になっていてを願います。夏には人の心を明るくするヒマワリをお楽しみください。

また「てまえみそ講座」を開講してきたほ場において、じゃがいもの栽培を行っています。さらに野沢菜の栽培も行う予定です。そして、じゃがいも等の栽培から得た収益を寄付することも決まっています。

農業者との意見交換会

金子 伊作

3月25日（金）に農業者等と農業委員会との意見交換（研修）



ながの農協北部営農センター、長野農業改良普及センターなど、飯綱町の農業に係のある方々が一堂に会しました。町からは農業者に対する支援事業について多岐にわたる説明がありました。また、環境農業についての研修会並びに意見交換がされました。

将来飯綱町の農

業を担うであろう、認定農業者に対する支援についての説明がありました。環境農業についての研修会では、長野地方事務所農政課丸山課長補佐による「ながの環境農業&ECO実践運動」についてご説明いただきました。これまでの農業は、環境に負荷をかけてきました。結果として自分にも負荷がかかっています。環境にやさしい農業をする事で自分への負荷もかからず、品質の高い付加価値のある農産物の販売ができ、飯綱町のイメージの向上にもつながると思います。実践するには、作物毎にこまやかな講習会が必要



かと思いますが、飯綱町全体で取り組み事で、大きな効果が出ると思います。他の産地と区別されるには、必要な事の一つだと思えます。

農地管理をしっかりとしましょう

農地管理が適正に行われないことにより、隣地の農家からの苦情が農業委員会に数多く寄せられています。

病害虫の発生予防のために草刈等、農地管理をしっかりと行い、気持ち良い農作業を進めましょう。

農地相談会開催

農地を「売りたい、貸したい」、農地を「買いたい、借りたい」という方や、農地の集約化についてのご相談に応じるため、下記の通り農地相談会を実施します。この相談会は、農業委員会を中心にJAながの、長野農業改良普及センター、飯綱町の協力のもと、開催するものです。

記

日 時 8月29日（月）、30日（火）、31日（水） 午前9時～午後4時
場 所 三水仮庁舎
問い合わせ先 農業委員会事務局（TEL 253-4765）

あじり倶楽部

がんばる人紹介

佐藤 省吾（飯綱町 普光寺）

東京からここ飯綱町に来て、3年目になります。倉井の「アップルファームさみず」で2年間の研修を受け、今年からリンゴ農家として独立しました。

独立と言っても、まだ自分が育てたリンゴで生活費を稼

いだわけではなく、まだ半年前もいいところです。しかし、元々楽天的な性格もあってか、特に不安を感じることはありません。逆に、少しは感じたほうがいいのではないかと、我ながら不安になります。

とは言え、今までの研修で農業はやりがいのある仕事だと実感したし、やっつけていても楽しいと思います。今はこの先の不安感というより、

期待感のほうが強いです。

今は、80アールのリンゴ畑の世話をしています。リンゴに限らず、いろいろな果物を育ててみたいのですが、まずはリンゴに集中してみようと思います。バランスよく育てようか、何かの品種に特化して強みを持つとか、加工品の開発で稼ごうか、と妄想は膨らむのですが、まずは地に足をしっかりとつけてがんばって

いきたいです。

目標は、今年一年を無事乗り切ること。そして、少しでも早くSS等の機具を揃えて本当の意味での独立を果たしたいと思います。



普及センターだより

1 自己紹介

本年4月より飯綱町担当をさせていただいております。長野農業改良普及センター地域第一係の高橋宏典（ひろみち）と申します。

生まれも育ちも、長野市川中島町です。桃の「川中島白桃」発祥の地です。（飯綱の桃を今年には食べたいと思います。）

今までの仕事は、補助事業



や農産物の生産調整などの行政事務に携わってきましたが、昨年より普及センター勤務となり、西山地域担当でした。

飯綱町は、北信五岳を望むなだらかな丘陵地帯で、空が広く近く感じます。りんごなどの果樹や水稲は、長野県を代表する産地で、生産から加工、販売と多様な農家が多いと感じております。

農家さんの声を直接聞くことが出来る普及センターの仕事は、やりがいがあり農家さんの「すごいパワー！」を感じ動いております。

皆様に教えていただくことの方が多く自分ですが、少しでも役に立てよう頑張りたいと思います。

今後とも、ご指導をよろしくお願ひします。

2 食品産業界アップ産地育成事業について

これまでの本県農業は、レタス、はくさい等への特化を図り、中央卸売市場への販売に力を注ぐことにより価格形成力を高め、全国トップクラスの生鮮野菜供給産地として発展してきました。一方、近年は消費者のライフスタイルの変化に伴う「食の外部化」等ニーズが多様化しております。このため、食品産業界は、従来の市場でのセリ取引の割合を減少させて、産地との契約取引による割合を高めております。

業界ではさらにこの度合いを高めたいが、「産地側の情報がかみづらい」、「相手が見つからない」、「安定な供給を確保したい」等の理由から、県等公的機関への生産者等の

紹介、コーディネートなどの支援が求められています。

これらの要望に対応するため、現在の市場取引を維持しつつ、食品産業界と生産者の契約取引を促進するシステムを構築するため、「食品産業界アップ産地育成事業」に取り組んでまいります。これにより食品産業界のニーズに対応できる新たな産地を創出して、本県農業生産力の強化と農業者の所得確保を図りたいと考えております。飯綱町の農産物も、これまでと違った新たな取引に挑戦すれば、さらに販売力を高められると思いますので、話を聞きたい、実需者の情報が欲しい方は、農業改良普及センター（TEL2349534）までお声かけいただければ、いつでも伺いたいと思います。

鳥獣害防止用爆音器による騒音防止について

スズメ、カラス、イノシシなどの野生鳥獣による農作物被害防止のため使用される爆音器の爆発音につきましては、例年、夏季を中心に周辺住民から多くの騒音苦情が寄せられております。

つきましては、爆発音による騒音を未然に防ぐため、次の事項をご承知の上ご使用願ひします。

なお、町では爆音器から電子防鳥機や防鳥網等に切り換えていただけるよう補助金を交付しております。電子防鳥機や防鳥網の購入には、購入費の2分の1（上限1万円）、電気柵の購入には、購入費の2分の1（上限3万円）の補助を行っております。

① 住居から直線距離にして200m未満の位置で使用しないこと。

（※住居から200m以上離れた位置に設置する場合においても、設置期間を収穫期等に限定した必要最小限の使用に留めるとともに、設置について事前に近隣住民に知らせるなど、周辺環境に十分配慮して使用するよう心掛けることが望ましい。）

② 早朝及び夜間には、使用しないこと。

震災見舞

このたびの東日本大震災において、亡くなられた全ての皆様
に心より哀悼の意を表します。
そして、被災された方々に心よ
りお見舞申し上げます。

誰もが経験したことのない災
いとなりました。地震による農
地や施設の損壊、津波による耕
地の塩害。原発事故による避難
のため耕作、畜産は出来ず、更
には風評による農産物の価格低
迷。農業者にとり、経済的にも
精神的にもたいへん辛い状況が
続いています。

飯綱町農業委員会としても、
東北地方太平洋沖地震及び長野
県北部地震に対する義援金の送
金を、長野県農業会議を経由し
て行いました。

また、交流の深い千葉県東庄
町へも畑田会長が飯綱町長、議
長と共にお見舞し、義援金をお
届けしました。

これから農業の復興でも苦難
の道を進むことになるでしょう
が、農業者と
して心を寄せ
ていかなけれ
ばなりません。



新農業委員



永井 正幸

この度、JAながの選出農業
委員ということで田中義治さん
の後任を務めさせていただくこ
とになりました。農業を取りま
く環境がより厳しくなっていく
中で、農業委員の職務の大変さ
を感じております。経験、知識
ともに何かと不足している私で
すが、行政機関の皆様、農業委
員先輩諸氏の皆様、農業者の皆
様方の御指導と御協力をいただ
く中で、地域農業の振興と貢献
に皆様と共に努めていきたいと
思います。よろしくお願い致し
ます

担当地区変更

農業委員の交代に伴い、
担当地区が変わりました。

○普光寺東部・深沢

永井 正幸(普光寺東部)

○毛野・東柏原・奈良本

渡邊 秀幸(毛野)

*その他の地区は変更ありません。



飯島 吉徳

農地の権利移動や転用の許可
申請手続きを担当しておりま
す。農地を農地以外のものにす
ることを規制するとともに、農
地を効率的に…なんて難しい事
は書けません、農家の皆さん
に少しでもお役に立てるよう頑
張りますので、どうぞよろしく
お願いいたします。

農業委員会事務局が代わりました



丸山 英樹

農地の賃貸借等に係る利用権
の設定、農業振興地域の整備計
画、農業者年金を主に担当して
います。天候と国の政策に左右
される農業ですが、国家百年の
計は農業が礎であります。皆様
のお役に立てるように勉強を重
ねますので、よろしく願いま
します。



原田 大

耕作放棄地対策、就農支援な
どを担当しています。
農業分野は、初めてですが頑
張りたいと思いますので、よろ
しく願います。
また、『飯綱町マルシェ』を
開設しますので、みなさんのご
出店をお待ちしております。



塩入 敦男

この4月から長野県からの派
遣研修でお世話になっていま
す。りんごやももの花が順番に咲
き、小さな実が成りと、日々変
わる景色を楽しんでいます。
1年間という短い期間です
が、よろしく願います。

編集後記

青い空と白い雲
したたるような夏の緑
うつくしい田園と家並み
……ただれもない
たれも畑にない
たれもたんぼにない
たれも学校にも家にもない
鎖を解かれた原子力という怪物が
ひどい息を吐きながらうろついている
……これが現実の光景
2011年の夏の光景……
……………

にんげんも草木も山川も
鳥やけものや虫たちも
偶然と調和によって奇跡のように
この世にこうしてあるもの
ほんとうは有ることが難しいもの
強い日差しを仰いで汗をぬぐい
田畑とともに今日も在るわたし
ほんとうはそのことが有難いこと
ありがたいこと

編集委員

小林 正志・廣田 一誠
羽入田恵太・清水 一美
石川 道代・宮本 廣市
畑田 恭貴・金子 伊作